

發行兼編輯人 川崎文治 印刷所 本報印刷部



刊夕日六十月十

定部金紙銀 一ヶ月掛紙 五元 一年掛紙 五十元 印刷部 電話六三〇番

常警毎日新聞 通信上より見 たる平町 (三) 平銀行樓上に開會の十三日會に講演

便區としては他局區内なるか交通及道路の關係其の他特殊の事由に依り平區内に編入せられたる夏井村、赤井村の一部とす、他は直配達區外に於ては

神谷村、内郷村の内平町に近き一部を之に編入せられ、電話呼出地域は其の郵便區の市内と全一とする

吉田屋眼科醫院 院長 醫學士 高久 副院長 新潟醫學士 赤羽 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

第二病室 高久病院 院長 醫學士 高久 副院長 新潟醫學士 赤羽 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

吉田屋染工場 電話五五八番 牛ヲ屠リテイソ人助ケ

新磯節 神戸。横濱。銚子ノ濱へ ヒヨツコリ。ヒヨロリト コレラガ生レ

福島縣平町 鹽屋山崎本店 電話 營業部専用一〇番 一般用二七番 上野上車坂町四二 東京支店 電話長淺草五七二八番 振替東京六八三二二番

柏傳の 全刺子染料 柏傳の染料店

遠藤パン 小僧さん入用 (有聲座席) 喰へてほしい

品優質 所末精内関 番〇六一出呼話電 町橋長町平

瓦斯コークス スヤキコンロ 佐藤鐵工所 平町月見町電話三六二

藤沼醫院 電話五〇七番 小兒科 (需應院) 花柳科

喜多林之助 賣販炭石 賣販材石岩 (有待接の湯麥)

看護婦派出 平町南町 電話三〇七番 各種 體操 寒暖計 電話四〇番

行流新最秋今 子帽・傘洋・物洋 タシマヒ揃山澤ガノイ安 部品洋谷大 店計時谷大 番九十話電目三町平

カフエースラン 電話五一四番

松吉屋本店 電話二四一番 石城郡平窪村

御定食 錢一五前人一御 御香燒吸さし 飯物肴物

本社專屬工場の移轉と改稱に就いて

本社專屬印刷工場警陽社(平町鍛冶町十番地)は今後一層業務を擴張せんが爲め工場完備の必要に迫られ来る十八日迄に平町長橋町廿五番地(現在社屋)に移轉すると同時に『常磐毎日印刷部』と改稱し本紙印刷の傍ら總べての活版印刷を引請け敏速低廉を旨とし日頃の御愛顧に報ゆる事に相成候也

常磐毎日新聞社

愈々明日の初顔合せ

平町大いに優待に努む

石城郡町村長會は既記の如く明十七日午前十時より郡會議室に開會、左記事項の協議

各町村役場に電話の架設を縣知事に申請すること
△縣道の改善修繕を期すること
△精神修養を促すこと
△町村吏員の優遇について
△退職料制度を設けること
△國庫は之れに相當負擔することの請願

に次いで内務省書記官財務課長田仲廣太郎氏の『歐洲農村自治の實況』に就いての講演あり終つて午後一時から平館に於ける地元平町の主催たる藝妓總出の懇親會に望む筈であるが尙當日の出席者にして宿泊する向きに對しては聚樂館、平館有聲座、平劇場等四館共通の無料入場券を交付し大いに優待振りを發揮すると

坑内の出水

完全に防ぐ

警備炭礦高坂坑の試み
炭礦で最も恐れて居るのは坑内の出水でさきには石城郡好間村の古河炭礦が坑内出水のため年産三十萬トンを算した

堅坑を 廢坑とし千九百名の労働者を解雇失業せしめ更に石城郡内郷村綴坑また温泉噴出から廢坑となつた例もあり出水の豫防には専門技術者が常に苦心してみる所で警備炭礦高坂坑では現に千九百の坑夫を 使役し年産卅六萬噸の出炭あり三千尺

の堅坑をしそれより南へ六千尺、北へ五千尺の坑道を開鑿してゐるが出水防止のため坑道内にダム(水防壁)を作り十六萬圓を投じて近く十六ヶ所のダムが完成の 筈でまた排水のため試掘用のボーリン

先の調停案に基き飽迄所信を斷行す

大瀧問題に關する

伏見町長の決意

大瀧發電所問題に關し水野郡長が調停に入るべき旨の説を爲す者ある爲め其實否を伏見町長に尋ぬるに全々左様な交渉を受けた覚えなきのみか平町としては先に青沼鋒太郎、漆畑元吉兩氏の手によりて果された解決案に基き川淵知事の裁斷を乞ふ一方行政訴訟を繼續するの意圖を有すとの事にて先般知事との會見に依り一層其確信を固めたるもの、如く反對同盟會も是れと呼應し平町の將來を顧慮せざる利権屋撲滅の爲め或る種の策断を斷行する由である

大演習參觀

平町から

大演習參觀の爲め平町よりは左記の豫備將校が明朝二時の下り急行にて出發すると

清野才二、羽岡平三郎、山崎清三、藤田榮助

サンマ漁船

沖合で難破

二萬尾を乗せて

石城郡四倉町宇新町鹽田兼次郎所有漁船幸福丸は十四日金華山沖からさんま二萬匹を漁獲しての歸途同日午

切り去つて、町噂に洗ひ、四割にして置きます。次に鶏肉は脂肪の少ない笹肉のやうなものを撰びまして、薄く平たくそぎ肉とします。みりんと醤油の混和した中に三分はご付けておいて取り出し、これで松茸を三本位づゝ程よく巻き、金ぐしで合せ目の所より刺し、

縣社總代改選

廿三日執行

平町縣社子鐵倉神社にては来る廿三日午前九時より午後三時迄に氏子總代二十二名の改選を行ふ由

後十時ごろ相馬郡大瀧村沖合で發動機に故障を生じ難船漂流してゐるとの報に接し十五日四倉漁業組合から漁船五隻を派遣したが同日夕刻迄には尙不明である因みに一行の乗組員は廿三名である

法要を遙拜

平驛に於て

平驛では昨十五日東京及び仙臺の二ヶ所に行はれる全國鐵道殉職者法要は午前十時半同驛で殉死して居る十五名の遺族を招き機關庫並に檢車所の従業員數百名と

募集

文藝其他投稿を募集します

共に同驛構内の卅餘臺の汽關車の汽笛を一青に吹鳴らして東京の法要場に向ひ遙拜を行つた

比較的金廻りのいい農家の懐を日當てに

詐偽を働く悪金融業者

石城郡の防止策

最近農家が比較的金廻りのいいのに附けこんで悪金融業者が詐偽的行爲をするものが増加して来たがこれが防止策として水野石城郡長は十四日各町村長に

通牒する 處あつた

右に就て語る『昨年震災以來全國各地に亘つて免許を要する金融業者が、無免許で營業をなす者が増加し利殖給組合、金融社または勸業會等種々なる名稱を用ひ



家庭欄

松茸料理 (二)

▲松茸白川巻 (五人前)
松茸中十五本、鶏肉百二十枚、みりん五勺、醤油七勺、ユズ一箇、松茸は石付きを

伴つて都會で營業停止を命ぜられたる者が各地に入り込んで詐偽的行爲で農村民を欺き投機心を煽動する 者が多くあるやうであるが一時の小利に眩惑することなく剰餘金はなるべく産業組合の設立を圖りこれに投資するか又は郵便局産業組合その他確實なる銀行に貯金するか或は簡易保険に加入するか若しくは適當なる本業の生産事業に投資するやうに完全にして確實な方法を執るまであるこれについて

各町村長

にも通牒したがこれ等不正金融業の勸誘ある時は郡役所或は町

突然巡査に

不審な發狂者

石城郡上小川村字福岡箱根重太郎(三)は十五日午後十時半頃平町五丁目釜屋商店前にて突然棒を振るひ警邏中の平署渡邊巡査に打つて掛つた爲め舉動不審者として平署に引致されたが精神病者と判明し保護を加へて居る

菩提院の總代

平町菩提院總代は昨日改選の結果

兎の耳

果左記の諸氏當選した岡田長太郎、柏原真吾、柏原幸次郎、吉田伴吉、野崎滿藏、白土禎三

白河町字田町かん物商武二次男白河第三小學校三學年生鈴木勝郎(○)は休み時間の午前十時半遊戯中圓筒形ブリキ管長さ七分を口にくはへ呼子の眞似をして居た際過つて氣管に飲下し見不省に陥つたので大騒ぎとなり直に内山病院に搬送さるが氣管部を切開し應急手術を施したがブリキ管は容易に取れず全く危篤の状態である